

# 富士河口湖町立 教育センターだより

No.16



平成26年10月27日 文責 高尾久美子

## 富士山について知ろう！



10月17日（金）、第3回富士山学習研究会が行われました。今回は、研究員の研修ということで、生涯学習課の杉本さんを講師に迎え、河口の御師の家本庄家・河口浅間神社・御師三浦家の門を見学しました。河口御師の歴史は上吉田の御師より古く、最盛期には南北1キロ140軒余りがあったそうです。その中で一軒だけ残る本庄家（1776年建築）では、家主の本庄さんからもお話をうかがうことができました。また、三浦家は、徳川幕府

四代将軍家綱の誕生のときより将軍家の御祈禱所となった由緒ある特別な御師でした。今も残るその門が当時の隆盛を物語っています。

「御師」といえば江戸時代の「富士講」により栄えた上吉田の「御師」が有名です。しかし、室町時代よりの歴史をもつ「御師」の町が河口浅間神社を中心につくられていたことを富士河口湖町の子どもたちにも知ってもらいたいと思いました。



授業代替として各学校に出向いていますが、その時に先生方から1時間いただき、低学年向き（1年～3年生）に富士山学習を行うことがあります。

地域のお話の読み聞かせから始まり、富士山の昔話『富士山と八ヶ岳』『富士山の噴火』を読み聞かせた後、現在の富士山の写真や成り立ちの絵を見せたりします。すでに、3校5クラスで授業をしました。子どもたちの反応は様々でとても楽しいです。どの子も興味をもってお話を聞きたくさん感想を書いてくれました。特に自分の地域のお話には「おもしろい」「楽しい」と関心が高かったです。富士山学習の導入としていいのではないかと思います。ぜひ、先生方も活用してみてください。

### 〈西浜小〉

- ・ふじさんは、いろいろなじきになるとふうけいかわりおもしろかったです。
- ・かつばこうのお話がおもしろかった。ふじさんのことをしらべたい。ふじさんにのぼってみたい。
- ・ふじさんのちょうじょうまでのぼりたいとおもった。ふんかしたあとのようがんが大きくてびっくりした。かつ山のお話もしりたいとおもった。ふじさんのことをもっとしりたくなった。

### 〈小立小〉

- ・ふじ山は、四つの山からできていました。そのわけがしりたくてしりたくてしょうがないです。
- ・ふじ山にとりいがあったなんてしりませんでした。ようがんがあることもはじめてしりました。ふじさんのまんなかに、あながあいているのでどのくらいふかいか見てみたいです。

### 〈河口小〉

- ・ふじ山がふんかする本がよかったです。なぜなら、ぼくはふんかのことを知っていたが、もっとよくわかったからです。
- ・むかしばなしがおもしろかったです。ふじ山がのっていてももしろかったです。ほかのむかし話もいっぱいよみたくなりました。ふじ山にのぼってみたいです。